

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校

## 【取組内容①】 写真や動画を活用し、子どもの気づきを広げ、共有する。

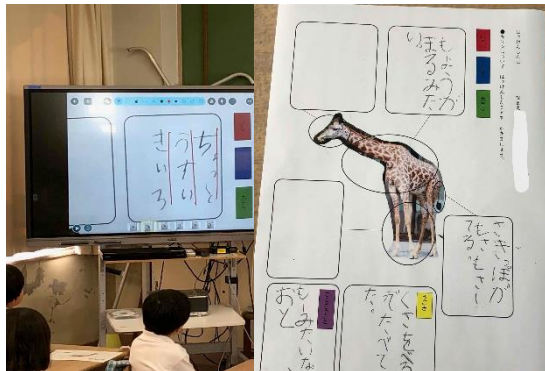
1年国語「はっけんしたよ」：見学旅行で実際に観察したヤギの写真や動画を見ることで、気づきをたくさんみつける。

1 ヤギの写真を見て、気づきに印をつける。



タブレットの写真を拡大したり、印を付けたりすることで観察したことを想起し、多くの気づきを持つことができた。また、印をつけた場所を「ここ！」と指さしながら見せ合うことができ、ペアでも活発な話し合いが生まれた。

3 他の動物について気づきを書く。



2 気づきを発表し、共有する。



黒板に拡大したヤギの写真ををはり、子どもの気づきを板書して共有。また、必要に応じて電子黒板で写真を拡大して確かめる。



動画視聴。音声消すことで動きに着目できるようにする。

色、形、大きさなどヤギの学習で学んだ観点を活かして別の動物（キリン）を観察。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校

## 【取組内容①】 チャット機能を活用し、互いの気づきや学びを広げる工夫

3年国語「『ほけんだより』を読みくらべよう」

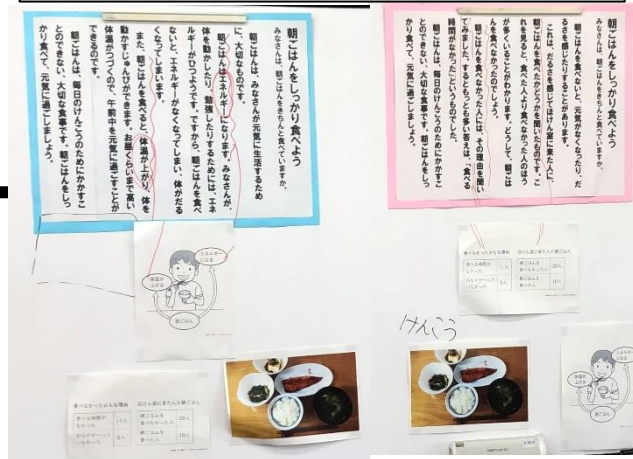
三つの資料から文章に合うものを選び、理由を考えることで、文章と資料の関係を読み取ることができる。

1 課題をつかむ。



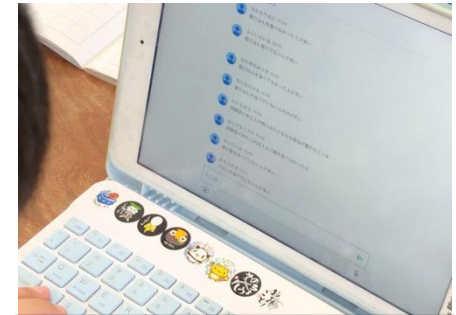
教師が準備したモデル文（学級通信）と三つの資料を提示し、どの資料が効果的かを考える。この活動を通して課題意識（文章をよりよく伝える資料があるのでは？）を持つ。

2 文章がよりよく伝わる資料を選ぶ。



二つの保健だより（ブルー・ピンク）を提示。ブルー組とピンク組に分かれ、文章がよりよく伝わる資料（写真・図・表）を選ぶ。

3 資料を選び、話し合う。



すぐに資料を選ぶのではなく、まず、三つの資料について分かったこと、気づいたことを書き込む。

チャット機能を活用し、友達の意見をリアルタイムでみることができるようにした。友達の書き込みに納得したり、それをヒントにして考えたりすることで、個々の気づきを増やすことができた。

次に、これらの気づきと、文章とのつながりを考え、資料を選ぶ活動を行った。

タブレットを使って文章と選んだ資料を示し、「ここに書いてあることが資料で分かる」などつながりを説明する姿が見られた。

二つの文章が伝えたいことや違いなどを、もっと明確にしておくことにより効果的だったと考える。



# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校

## 【取組内容①】単元のゴールに向け、個々の学びを交流する工夫

4年国語「二つの広告を読みくらべよう」

同じ商品の二つの広告を読み比べて、意図や目的による表現の工夫や効果の違いを読み取ることができる。

### 1 単元のゴールをつかむ。

単元のゴールを身近な広告の工夫を見つけ、紹介する言語活動に設定。それをつかませるために、**以下のアプリを使って教師がモデルを示す**。そのことで、ゴールに向けて主体的に学習に取り組み出す。  
※アプリ：写真に口をつけ、録音することができる。まるで広告自体が話しているように見える。

### 2 広告の工夫を学ぶ。



同じ広告（体温計）を比べ、共通点や相違点をベン図（タブレット）まとめたことをグループや全体で交流。

### 3 自分が選んだ広告の工夫を探す

めあて： 広告の表し方の工夫を見つけて分せきしよう。

- キャッチコピー**
  - 冷やすぎた中華 → 普通じゃ無いもの目が行く → 注目される
- 写真**
  - 写真は笑 → 暖かさに合わせて欲しい
- 色**
  - 青 → 冷たい、冷えすぎている
- レイアウト**
  - 裏面指定部分、折り切れ次第終了 → いつでも食べれる訳ではない → 食べたくなる

学んだ工夫を活かす



自分が選んだ広告について、目的や相手を踏まえ、どのような工夫があるのかを探し、まとめる。  
・キャッチコピー、写真、色、レイアウト等

個々の学びを交流



各自で選んだ広告で見つけた工夫について、適宜、交流しながら学び合う。「〇〇だと思うけど、どうかな？」

広告に、工夫を吹き込み完成・互いに視聴する。

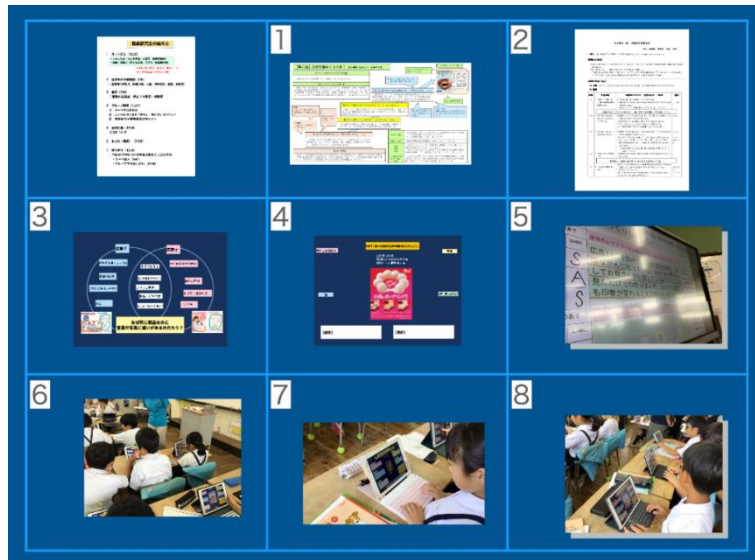
# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校

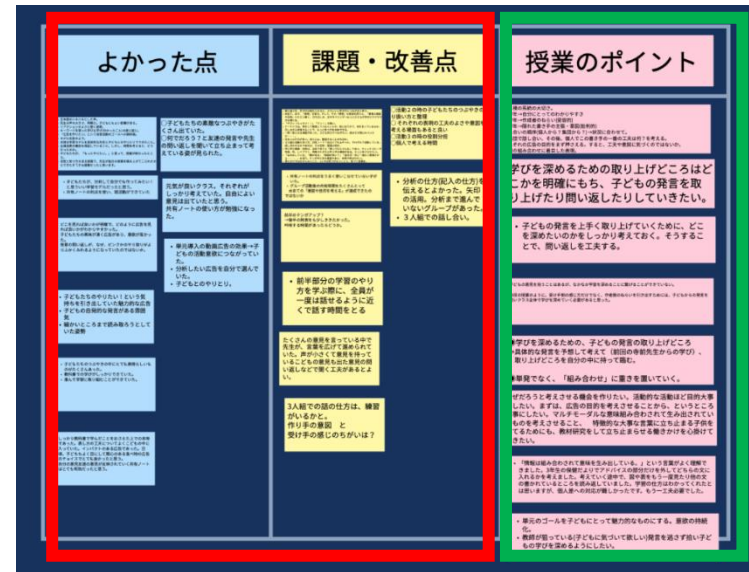
## 【取組内容④】授業に対する成果や課題のカードを共有し、対話的・協働的に進める研修の工夫

校内研修：互いの考えをリアルタイムで共有することで、一人一人が主体的に参加し、話し合う授業研究会

事前資料・授業の様子等も共有



授業に対する個々の意見をリアルタイムで共有



- 1 授業研究会では、まず、「よかった点」「課題・改善点」を記入。それをリアルタイムで共有。
- 2 上記の意見を踏まえながら、グループで成果や課題、今後の改善点を話し合う。その歳、事前資料や授業の様子（写真）等も共有し、活用できるようにする。
- 3 グループで話し合った内容を出し合い、全体で共有。
- 4 本時の授業（研究会）を踏まえ、自分の授業改善に何を、どういかしていくのかをまとめる。それらをリアルタイムで共有しながら話し合う。

